



QuarkXPress 2019既知の問題 および解決済みの問題



Contents

解決済みの問題: ()

の既知の問題

法律上の注記

解決済みの問題: QuarkXPress 2019 - (15.0)

QuarkXPress 2019で解決された問題の一覧は下記のとおりです。ただし、このバージョンにおけるすべての修正を網羅したものではありません。

- **解決済み:** (Macのみ) : ウェルカムスクリーンの「最近のプロジェクトを開く」オプションからブックを開けない。(76579)
- **解決済み:** 破損した、または未割り当てのオブジェクトが、高さと幅の値が「0」のペーストボードエリアに置かれた場合、一部のIDMLドキュメントが開かない。(52857)
- **解決済み:** (macOS Mojaveのみ) : SMBプロトコルを使用してWindows Serverにファイルを保存する際に、「保存できません。ファイルは既にかき込み用に開いています」という警告が表示される。(59231)
- **解決済み:** (macOS Mojaveのみ) : オープンダイアログの表示が列表示に設定されている場合にMac共有フォルダからプロジェクトを開こうとすると、「このプロジェクトはロックされています」という警告が表示される。(45211)
- **解決済み:** ボックスを画像として書き出すと、常に72 DPIの画像が生成される。(261325)
- **解決済み:** (Windows 10 - バージョン1809のみ) : フォントがユーザーレベルでインストールされている場合、IndicテキストをIndicフォントで挿入するとQuarkXPressがクラッシュする。(52768)
- **解決済み:** (Windows 10 - バージョン1809のみ) : フォントがユーザーレベルでインストールされている場合、「出力ファイルの収集」を使用してTrueTypeフォントを収集できない。(53147)
- **解決済み:** (Macのみ) : ルートライブラリフォルダに置かれたAppleScriptがQuarkXPressのスクリプトメニューに列挙されない。(55312)
- **解決済み:** (Windowsのみ) : 正しくないエリアがズームされた結果、ズームされたエリアに対してマーキーが正しく描画されない。(47539)
- **解決済み:** 透明度が適用されたCMYKカラーはカラー管理され、平滑化モードの「カラー変更なし」出力設定で出力する際にRGBに変換される。(32066)
- **解決済み:** (Windowsのみ) : CPUが多く消費された結果、QuarkXPressがクラッシュした際にQuarkのCEF Rendererが終了しない。(58071)

- **解決済み:** (Macのみ) : インストールされたQuarkXPressアプリケーションにおいて、Quarkの「環境設定の更新」ダイアログにシリアル番号が表示されない。(85555)
- **解決済み:** RGBカラーの値が「カラーの編集」ダイアログの各レベルに表示されない。(4813)
- **解決済み:** バージョン4「白黒ICC」のカラープロファイルが出力またはソフトプルーフ/出力のプルーフで使用されている場合に、QuarkXPressがクラッシュする。(10340)
- **解決済み:** 4KおよびRetinaディスプレイの機械にインポートしたベクトル画像やラスター画像をパンする際に性能問題が発生する。(43042)
- **解決済み:** ユーザー名にアクセント付き文字が含まれる場合、フォントが埋め込まれた設定で出力する際にフォントがCourierフォントに置き換えられる。(53252)
- **解決済み:** アクセス可能なPDFに書き出す際に、目次(TOC)が正しく構成されない。(31348)
- **解決済み:** テーブルセル内にコールアウトアンカーとして追加された画像ボックスが、読み順のタグツリーに追加されない。(47255)
- **解決済み:** グラデーションおよびテキストを含むQuarkXPressプロジェクトを検証する際に、PDF/A-2u、PDF/A-2b、PDF/A-3bの検証/認証が失敗する。(29800)
- **解決済み:** JAWSと比較して、Callas Distillerの変換/出力に時間がかかる。(4562)
- **解決済み:** 脚注/文末脚注の参照が<Ref>構造の要素に含まれていない。(51120)
- **解決済み:** QuarkXPressからPS出力を生成する際に、性能遅延が発生する。(47694)
- **解決済み:** ユーザー名に2バイトのロシア文字が使用されている場合、EPSファイルをインポートできず、「原因不明のエラー」と表示される。(4096)
- **解決済み:** (Macのみ) : ローカライズされた言語のスタイルシートダイアログで、絶対/プロポーショナル行送りから行送りの自動設定に変更できない。(56665)

QuarkXPress 2019の既知の問題

QuarkXPress 2019で確認されている問題の一覧は下記のとおりです。

- ・ (Windowsのみ) : 重い画像を含むプロジェクトで異なるレイアウト操作を行う際に、古いプロジェクトプレビューがレンダリングされ、プロジェクトウィンドウがグレーのカラーパッチで表示される。レンダリングの問題は一時的なものであり、ワークフローに影響を与えない。(49094)
- ・ (Windowsのみ) : 不足フォントを含むプロジェクトを開く場合、フォント交換の間にわずかな性能遅延が発生する。(55189)
- ・ (Windowsのみ) : 共有テキストボックスにテキストを入力する際に、テキストがチカチカする。(60762)
- ・ 共有コンテンツの場合、ボックス参照ポイントが機能しない。(49872)
- ・ (Windowsのみ) : マウスを使用してアイテムを回転させる際に、ボックス参照ポイントアイコンのライブプレビューが機能しない。(60768)
- ・ ボックス参照ポイントがアイテムスタイルと統合されていない。(37299)
- ・ 自動調整テキストボックスには以下の制限がある。縦組みストーリー、列フロー、回り込み、両端揃え、アイテム検索 / 置換、アイテムスタイルと統合されていない。(85942)
- ・ アイテムサイズXTを用いてテーブルをサイズ変更する場合に、グリッド幅がサイズ変更されない。(55881)
- ・ カスタムテーブルスタイルを削除する際に、テーブル初期設定が「置換単語」のドロップダウンに表示されるべきである。(53398)
- ・ フレックスコンテナに対する行揃えが開始位置に設定され、ユーザーが自動位置合わせを選択して特定アイテムの位置を上書きする場合、フレックス出力がブラウザごとに異なる。(52608)
 - ・ **回避策:** コンテナに対して回り込みを無効にする必要があります。
- ・ コンテナに複数の拡大縮小値が適用されているフレックスアイテムがある場合、アイテム全数の幅が100%を超えてもレイアウトに対して回り込みが機能しない。(51863)
- ・ コンテナにある2つのフレックスアイテムに拡大縮小が適用され、2番目のアイテムを選択してフレックスコンテナが作成されている場合に、最初のアイテムがレイアウトから消える。(59620)
 - ・ **回避策:** 新しく作成されたコンテナに対して縮小値1を適用します。

の既知の問題

- ・ フレックスレイアウトに適用された箇条書きと自動番号のスタイルが、フレックス出力で表示されない。(58690)
- ・ フレックスアイテムに最小幅/高さを定義した場合は回り込みに対してフレックスアイテムの高さが増加し、レイアウトのレンダリングに対する問題となる。(42550)
 - ・ **回避策:** フレックスコンテナから最小高さを削除します。
- ・ モバイルブラウザでHTML5出力を見たりデスクトップブラウザでHTML5出版物を見たりする場合に、視差効果が機能しない。(55555)
- ・ 選択したアイテムに対してコンテキストメニューからフレックスコンテナを作成すると、アイテムサイズが縮小される。(50503)
 - ・ **回避策:** ボックスを選択して幅を100%に変更します。ただしこの回避策は、複数のアイテムを選択してフレックスコンテナを作成する場合には機能しません。
- ・ インタラクティブ機能のページ指定がHTML5出力で機能しない。(48354)
 - ・ **回避策:** ページのハイパーリンクを適用します。
- ・ 高度な組版機能の一部がHTML5出力時に無視される。(40475)

法律上の注記

©2019 Quark Software Inc. and its licensors. All rights reserved.

Quark、Quarkロゴ、QuarkXPress、QuarkCopyDeskは、Quark Software Inc.とQuark
関連会社の米国およびその他各国における商標または登録商標です。その他のすべての
商標は、それぞれの所有者に帰属します。